

第9期（平成31年度）

# 総会資料



日時 平成31年4月14日（日）19:00～  
会場 北名古屋市文化勤労会館  
北名古屋市法成寺蔵化60番地

日本ボーイスカウト愛知連盟  
尾張東地区  
地区HP：<http://www.scout-owarihigashi.org/>

### 第一部 開会式

開会の言葉

国旗儀礼、国歌斉唱

コミッショナー

協議会長挨拶

井上協議会長

スカウト紹介

コミッショナー

富士スカウト・隼スカウト

### 第二部 議案審議

議長選出

書記選任

総務委員会

総会成立確認

定足数確認報告

(議員数 名)

事務局

出席 名 委任状 名

議案

第1号議案 平成30年度事業報告の件

地区委員長、コミッショナー  
各運営委員長、ローバース代表

第2号議案 平成30年度決算・会計監査報告の件

事務局 会計係、監事

第3号議案 地区役員改選の件

地区委員長

第4号議案 平成31年度事業計画(案)の件

地区委員長、コミッショナー  
各運営委員長、ローバース代表

第5号議案 平成31年度予算(案)の件

事務局 会計係

### 第三部 閉会式

副協議会長 挨拶

佐々副協議会長

連盟歌斉唱

指揮 石川圭祐 氏

国旗儀礼

コミッショナー

閉会の言葉

## 組織・拡充委員会

## 事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

## 評価反省

- ・3部会制（総務・登録・広報）は活発な討議が出来るようになりました。
- ・地区の主要な会議記録概要を発表し委員の意識向上に努め、他部門連携の重要性認識を高めました。
- ・毎月の登録状況増減表を地区委員会、団委員長会議、定例会委員会で報告できました。
- ・地区ホームページの活用を見直し管理された情報展開と利用率向上のアピールを強化していきます。
- ・地区フェイスブックの運用も7年目となり内容も充実してきました。
- ・地区誌「はやぶさ」の予定通り発行できましたが記事投稿の片寄りは解消できませんでした。
- ・県図画・写真コンテストの審査員奉仕（技能章考査員：絵画・写真）ができませんでした。
- ・委員会出席ゼロの団はありませんでした。参加率も60から74%に上昇しました。
- ・登録システムの活用法についてさらに研究しました。プロジェクターにて実演しました。

## スカウト進歩委員会

## 事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

## 評価反省

## 1. 進級目標達成度

- ① 富士スカウト章修得者 3名 目標3名 達成率100%
- ② 隼スカウト章修得者 5名 目標27名 達成率15%
- ③ 菊スカウト章修得者 39名 目標51名 達成率71%
- ④ 1級スカウト章修得者34名 目標55名 達成率75%

隼スカウト章の修得者が5名と昨年より減り、目標とかけ離れ、ベンチャー部門の進級が来期の大きな課題です。新進級課程への移行はボーイ部門では後半新菊スカウト章の修得者が増え、新しい技能章の修得者も多く、順調に移行出来つつある状況です。

## 2. 団面接の完全実施と個人記録帳の整備

各団共カブの完修面接、ボーイ以上の進級面接をなされていると思いますが、地区への面接報告がなされていない団が数団あり、全団の報告を求めます。

個人記録帳の整備については具体的な確認が出来ていませんが菊申請書を見ると間違いが時々あり整備が出来ていない団もあると思われ、委員会での整備の確認が不足していました。

## 3. 技能章講習会の開催

予定された6回の講習会は開催出来ました。

今年度木工章講習会を開催したところ24名の参加があり考査員認定技能章修得者の増加に貢献しました。今後、色々な技能章講習会を実施する事によりスカウトのスキルアップに貢献します。

技能章の取得数も考査員認定技能章116、隊長認定技能章143となり大きな成果が得られました。

## 4. スカウトフォーラムの開催

今期はベンチャー隊指導者主導で運営しました。6月9、10日に地区フォーラムを開催し17名のスカウトと15名の指導者参加しました。採択文の決定、代表スカウト2名が県フォーラムに出席しました。アフターフォーラムは来期実施予定しています。

## 5. 定例会議

出席率は昨年より悪く75%に終わりました。出席0の団もあり、定例会議の内容の見直しを計り80%の出席率を目標とします。

## 6. 講習会奉仕

奉仕いただける方の偏りは昨年同様で改善を図ります。

# 指導者養成委員会

---

## 事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

## 評価反省

平成30年度重点施策に対する評価

### 3・実効性のある指導者研修

#### (1) 定型外訓練の充実

⇒年間計画の定型外訓練は全6回でしたが、野営法研修会Ⅰを参加申込者不足で開催できませんでした。

また、昨年度から開催の3地区（尾張南・西・東）合同の定型外訓練、今年度はカブ隊指導者対象として開催しました。

定型外訓練修了者は、延べ88名です。

尚、ボーイスカウト講習会（定型訓練）は2回の開催で、参加者は48名でした。

#### (2) インサービス・サポートの推進

⇒コミッショナーの主導により、定型訓練参加者への支援が実施出来ました。

WB 研修所参加者（全コース計） 16名

WB 実修所参加者（BVSコース） 1名

WB 実修所参加者（BSコース） 5名

WB 実修所参加者（VSコース） 2名

団委員研修所 4名

団委員実修所 3名

#### (3) 運営委員会の充実

⇒年間6回の委員会開催でしたが、通年平均の参加率は75%となりました。

活動内容に対する評価

#### (3) ー①指導者訓練の実効性を高めるため、定型外訓練の運営を効果的に行う研究と開発を行います。

⇒委員会開催の都度、奉仕担当者から評価報告し、次の訓練運営に生かしました。

年間6回の定型外訓練、2回の定型訓練（ボーイスカウト講習会）を開催しました。

定型外訓練・定型訓練の実績については上記の通りです。

#### (3) ー③委員会活動の充実を図ります。

⇒全6回の開催において、平均参加率は75%となり、昨年度を下回りました。

実績は別紙の通りです。

#### (4) ー①防災・減災の研修を行い、危機管理意識を高めます。

⇒危機管理の意識向上のため、団委員としての役務を研究し各隊毎への支援を確認しました。

## 事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

## 評価反省

- ◆第17回日本スカウトジャンボリー大会に参加しました。(平成30年8月4日～10日)
  - ・地区より編成4個隊(スカウト140名、指導者24名)と大会運営スタッフ37名、計201名派遣しました。
  - ・参加スカウトは、日頃の訓練を基盤に国内外スカウト仲間との交流を通じスキル向上が図れました。
  - ・大会運営スタッフは、大会後方支援者として活動しました。
- ◆海外・国内派遣事業として下記4事業へ派遣しました。

派遣事業に沢山の関係者を派遣出来、スカウトには参加目標が達成でき今後の活動・活躍に期待します。

  - ① 第12回愛知連盟・韓国ソウル北部連盟ローバース緑化プロジェクト派遣  
大会期間：平成30年4月6日～8日 会場：韓国ソウル市近郊
    - ・地区よりローバースカウト2名と指導者1名を派遣しました。
    - ・参加スカウト・指導者は11月「吉川野営場・どんぐり交流会」にて韓国緑化プロジェクト活動の紹介を行い、海外でも植樹活動している事を報告しました。
  - ② 第5回国際パトロールジャンボリー派遣  
大会期間：平成30年7月31日～8月7日 会場：大韓民国江原道雪岳山(ワグサ)国立公園
    - ・地区よりローバースカウト1名を派遣しました。
    - ・国際サービススタッフ(IST)員として大会運営サポートを担当、東南アジア等から参加スカウトとの交流が図れ、自己技能の向上が図れました。この経験を自隊スカウト活動へ生かしてもらいたいと思います。
  - ③ 2019年愛知連盟ローバースムート  
大会期間：平成31年3月22日～24日 会場：岐阜県高山市日和田高原キャンプ場
    - ・地区よりローバースカウト2名と実行委員4名の派遣ができた。
  - ④ 愛知連盟ハイアドベンチャー大会  
大会期間：平成31年3月28日～31日 会場：奥三河東海自然歩道&吉川野営場
    - ・地区よりベンチャースカウト1名の派遣ができた。
    - ・2泊3日単独でのトレイルキャンプを通じベンチャースカウトの技能向上を目指す大会で、県連行事として初めての事業を通じ、スカウトが「隼」「富士」取得に挑戦し、その延長先に米国フィルモントへの参加を目指す、高度技能を醸成する目的で開催されましたが、ベンチャースカウトへのPR不足から参加者が少なくなりました。参加者増への取組が必要
- ◆「緑の募金」は、21個団が活動、約38万円の募金を頂き県連へ送付しました。
- ◆「スカウトの日」は、2個団が天候不順で中止となりましたが20個団が活動を行いました。

それぞれ「環境保全美化活動」「社会奉仕活動」等を通じ、スカウト活動の一部を一般市民にPRできました。
- ◆昨年度天候不順で順延となりました「第3回地区カブスカウトラリー」を、平成30年10月28日江南市を会場に開催、参加スカウトも楽しく交流が図れ、盛況に終わることができました。
- ◆平成31年3月17日「第5回地区ビーバースカウトラリー」各エリア別に開催、委員会として支援しました。
- ◆各団発行「野舎営届」「県外旅行申請書」の提出状況をまとめ、地区委員会や団委員長会議、行事・国際委員会で報告、提出漏れ防止と提出確認を実施しました。
- ◆県連 行事・国際委員会が年6回開催、委員会へ参加し委員会内容を地区内各団へ報告しました。
- ◆地区行事・国際委員会出席率が前年度より改善されました。出席ゼロの団が1個団ありました。

全団からの出席を目指すとともに、引き続き出席率100%を目指します。

## 事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

## 評価反省

- ・「防災ボランティアコーディネーター養成講座」への参加者、本年度は0でした。来年度も開催予定ですので、受講促進をしてゆきます。(参加者目標3名以上)  
また、防災士の講座等の情報収集と参加促進をしてゆきます。
- ・防災キャラバン、イオンモール扶桑で開催しました。江南第3団を中心として、運営協力をしていただき、PR活動ができました。ただ新規入団までには至りませんでした。次年度は、イオン春日井ショッピングセンターにて開催予定です。計画案等の準備を早くから進めて新規入団に繋がります。
- ・ローバースカウト対象「リクルート懇談会」につきましては、当地区から7名参加しました。各団・地区ローバースの協力により、参加者目標数値を大幅に達成できました。  
開催4回目、各年、若干名の就職も決まっております、次年度も開催予定ですので、多数の参加者と、地元の企業に就職ができる態勢づくりをしてゆきます。
- ・危機管理体制の充実強化につきましては、各団(各隊)の危機管理体制連絡網の整備をお願いいたしました。
- ・委員会の充実につきましてはインシデント報告(5件)事故報告(4件)その都度、安全促進を啓蒙しました。(実施計画書の点検・下見の実施等)  
委員会出席率は、68.2%と10%ダウン。出席0の団が2個団あり、次年度は連絡を密にして出席率の向上を図ってゆきます。
- ・地区ボウリング大会 前年同様の参加者数となりました。

---

## 尾張東地区ローバース Frontier

---

## 事業報告

### 総会・定例会

総会	参加者23名
第1回	参加者23名
第2回	参加者15名
第3回	参加者12名
第4回	参加者 9名

継続的な参加者がある一方、新規の参加者や1年目のスカウトの参加が少ないため、昨年と比較して参加者数が回数を重ねることに減少しています。新しいスカウトが地区ローバースに関心、興味を持ってもらえるような広報、参加しやすい定例会内容を計画していく必要があります。

### 夏季アクティビティ 参加者：10名

今年の夏はやりたいことをメインに夏季アクティビティを計画しました。サーフィンは個人種目ではありますが、1年目のスカウトを含め練習・活動することで、2年目以上のスカウトと打ち解けることができました。

またバディを組み、事故に備えることができました。1泊2日と決めて長い企画ではありませんが、プチフォーラムや、団体行動を通じて、更なる結束を固めることができました。

全国大会ブース出展 参加者：10名

尾張西地区・尾張南地区と合同で運営を行いました。

事前準備では連絡を取り合って、それぞれの地区から当日の参加者を募集することができました。

当日のブース出展では、活動紹介だけではなくダンボールハウスを作成することで、ローバー年代だけではなく、ピーバー、カブやその指導者など多くの人に地区ローバースの活動を発信する場が作れました。

## 評価反省

今年度の活動テーマ「やりたいことはやらなくちゃ!」から、ローバースカウトとして挑戦したいことを実施できる環境を整えてきました。

アクティビティでは、地区ローバース内で希望の出たサーフィンを実施することができ、運営委員は企画・計画・報告の一連の流れを学ぶことができました。

しかし、アクティビティ以外で活動企画案が出ることはありませんでした。今年度の活動テーマに沿った企画が出しやすい声かけをしていく必要だったと思われまます。

## コミッショナーグループ

---

### 事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

### 評価反省

#### 【コミッショナー】

- ・17NSJへの取組については、概ね計画通りでしたが、細かなところで打合せが不十分であり、関係者にご迷惑をおかけしました。以降の運営の反省とします。
- ・RTの運営については、担当コミッショナーへの指導が十分でなく、研修の場になっていないとお叱りをいただきました。この評価をもとに、次年度はRTの運営について改善致します。
- ・インサービス・サポートについては、研修所、実修所参加者へのサービスは上手く行えましたが、その他については、サービスの受け方がわからない方もいらっしゃるようですので、支援の体制等についても分かりやすくするように考えます。
- ・救急チームは、医療従事者を中心とした、プロフェッショナル集団として、次年度から活動できるように、研修や組織作りを行いました。
- ・地区トレーニングチームは、チーム員の能力向上のため、それぞれのチームにOJTによるチーム員の教育を課しましたがうまく作用しませんでした。次年度以降も引き続き行い、技能向上につながるようにします。

#### 【BVS部門】

- ・ピーバースカウトの特性を理解したプログラムの実施・展開の仕方をRTの研究の中で知らせてきました。それを実際にできるようになったかどうかは未知数なので来年以降隊訪問をしながら支援していきます。
- ・エリアごとの合同隊集会では自分たちでやるという意識は低く、地区がやってくれるという受け身の様子がありましたので、自分たちで企画計画運営ができるようにしていく必要があると感じました。
- ・定型訓練及び定形外訓練に関しては目標を達成することができました。次年度以降も参加を促進していきます。

### 【C S部門】

- ・約 1/3 の隊長が変更となり、隊運営に差の開きを感じました。また、試験的に実施した RT の部分開催でも、隊指導者間のレベルの差がかえって表面化してしまう結果を招きました。
- ・隊運営、集会、進歩などカブ隊独自で解決できている隊は少なく、他隊、団、保護者とのコミュニケーションをより強化していただくための指導・支援が引き続き必要です。
- ・昨年の台風の影響により延期となった CS ラリーは、各ブースの引き継ぎがうまくできており、事故や怪我なく実施することができました。
- ・スカウト減少に伴う活動の縮小化には各隊危惧しており、合同隊集会への実現化に向けて動き出している隊もあります。スカウト・指導者ともに本来あるべき活動ができるよう支援を強化していく必要があります。

### 【B S部門】

- ・17NSJ への参加に向け事前訓練に向けた情報共有、支援により、大会が無事に終了。その後、スカウトのモチベーション下がらないプログラムへ展開に向け隊長への支援を実施しました。
- ・ラウンドテーブルでは、新進級・進歩を踏まえたスキル研究により、隊長のスキル向上支援実施。その結果、目標とする菊スカウトが誕生。今後も継続した進級及び確実な隊長認定技能章が履修完了するよう隊長を支援してまいります。
- ・隊活動状況把握（少人数活動実態調査を含む）、コミ訪問を実施し、個別課題の解決支援を行いました。次年度も継続的に隊訪問を行い、少人数団（隊）、他団との合同集会を視野に入れ、活発な隊活動ができるよう支援してまいります。

### 【V S部門】

- ・17NSJ には 27 名の VS 参加があり、隊運営の支援や BS のフォロー等 VS としての立場を意識した参加となるよう支援をしました。これらのスカウトが地区全体の VS 活動の牽引力となるよう、地区 VS 行事の実施を含めた戦略の検討を行います。
- ・進歩については、富士章 3 名、隼章 5 名の取得がありましたが、全体としては停滞しています。新進歩課程への移行がスムーズにできていない、資材や適任者の有無等で 1 個隊や 1 つの団では対応しにくい現状もあることを踏まえ、引き続き部門として、具体的な活動や進歩に結び付く指導者間の研修や交流を深め、スカウトへのサービスを強化していきます。

### 【R S部門】

- ・ラウンドテーブルの出席率は低水準のままで、すべての団に対する支援には至っていません。
- ・英国エディンバラ公国際アワードに関しては、1 名がゴールドアワードを修了できました。一方で、昨年度いっぱいでは新規のアワードへの受付が停止されたため、ローバースカウト対象のプログラムの今後の動向に注視してまいります。
- ・地区ローバースの活動支援としては、定例会やアクティビティの運営・全国大会ブースの出展の支援を行いました。今後も定期的な活動の基盤づくりを支援するとともに、スカウトの技能向上に資する活動を促進してまいります。

### 【団 担 当】

30 年度の活動として

- ① 少人数団（隊）の活動に対して助言と支援を行います。目標 3 件
  - ・近隣団の隊集会見学及び体験集会参加、見学をしました。
  - ・支援を重点団 6 ケ団へ提案しました。
- ② 団訪問、情報提供及び団委員長サミット等による団活性化の支援をします。目標全個団
  - ・団活塾への参加推進をしました。全団参加には至らず継続して推進します。



- ・参加団で団運営に取り組みました。欠席団へは後日支援を行いました。
- ・エリア毎の討論会によって団の現状分析からの自団の「団の復興への道を探る」意見交換を行いました。「サミットの総括・目標」の作成ができました。
- 団の意識を向上させることは出来たが、重点団への継続支援は必要とかがえます。
- 団担当へ気軽に支援依頼できるよう、担当団の変更を行いました。
- 団訪問を継続して行います。
- ③ スカウト増員を目的とした調査と団活動を支援します。
  - ・地域毎に、募集に関する合同企画に参加と見学・支援が出来ました。
  - ・市町にて合同で開催の募集活動を企画段階から支援することができました。
 (合同 江南1+3、小牧1+2 単独支援は尾張旭1 春日井のイベントを6個団で開催)

## 事務局

---

### 事業報告

- ① 愛知連盟会議出席・奉仕しました。
  - ・県連総会 平成30年6月17日 受付業務を行いました。
  - ・事務長会議  
年4回 平成30年7月7日、10月9日、12月4日、平成31年3月5日
- ② 地区委員会/団委員長会議、他会議の招集開催を致しました。
  - ・地区委員会 9回開催
  - ・団委員長会議 3回開催
- ③ 会議資料作成などの事務作業を行いました。
  - ・県連等による配布資料の分配、情報伝達のペーパーレス化を推進しました。
- ④ 行事費、登録費等会計に関わる資金管理を致しました。

### 評価反省

事務長会議、諸会議において情報収集、情報交換を積極的に行いました。

地区への情報展開を速やかに行い諸事項について各委員会との協働で遅滞なく各団宛展開することができました。一部、情報量が多いため情報展開が遅れました。

1. 一般会計					
<収入の部>					(単位：円)
科 目		予 算	決 算	摘 要	
1	前年度繰越金	528,848	528,848		
2	地区費(継続登録)	1,256,600	1,256,600	20,000×22団+600×1,361人	
3	地区費(追加登録)	50,000	30,200	追加登録 56人	
4	県連回付金	120,000	58,270		
	1) 訓練研修費	100,000	46,000	BS講習会、技能賞講習会	
	2) 緑の募金還付金	20,000	12,270	緑の募金補助金	
5	雑収入	10,000	39	利息	
6	積立金から取り崩し	1,000,000	1,000,000		
合 計		2,965,448	2,873,957		
<支出の部>					
科 目		予 算	決 算	摘 要	
1	訓練研修費	270,000	227,708		
	1) 指導者講習会・研修会	50,000	5,227	BS講習会、各研修会支出 - 参加費 (185,227-180,000)	
	2) スカウト技能章講習会	40,000	24,581	技能章、フォーラム支出 - 参加費 (127,581-103,000)	
	3) コミッショナー研修会	180,000	197,900	コミッショナーグループ研修	
2	行事費	160,000	132,884		
	1) スカウトラリー	120,000	88,516	ビーバー(27,551)、カブ(60,965)	
	2) ベンチャー行事費	20,000	22,051		
	3) ローバー行事費	20,000	22,317	地区ローバース活動費	
3	事業費	910,000	842,781		
	組織・拡充委員会	200,000	210,000	地区機関紙(194,517)、HP維持費、旅費、活動費、資料代	
	指導者養成委員会	50,000	57,532	旅費、活動費、資料代他	
	スカウト進歩委員会	50,000	37,389	"	
	行事・国際委員会	50,000	46,639	"	
	総務委員会	50,000	80,530	旅費、活動費、資料代、防災キャラバン	
	コミッショナー	250,000	213,908	地区トレーニングチーム経費、救急チーム経費、旅費、資料代	
	事務局	50,000	66,595	肩章(20,000)、スカウトあいち掲載料(30,000)	
	会議費	140,000	114,410	会場使用料	
	事務・通信費	20,000	5,778	振込手数料	
	慶弔費	50,000	10,000	祝儀他	
4	備品購入積立金	50,000	50,000	資材、機材、備品	
5	大会関係積立金	300,000	600,000	日連、県連各大会	
6	大会支援金	1,000,000	517,232	17NSJ	
7	繰越金	275,448	503,352		
合 計		2,965,448	2,873,957		
2. 特別会計					
科 目	前年度残高	H30年度収入	H30年度支出	次年度繰越	摘 要
1 備品購入積立金	298,830	50,000	0	348,830	
2 全国大会関係積立金	2,450,000	600,000	1,000,000	2,050,000	17NSJ補助
合 計	2,748,830	650,000	1,000,000	2,398,830	

## 監 査 報 告 書

日本ボーイスカウト愛知連盟  
尾張東地区協議会  
協議会長 井 上 勲 殿

日本ボーイスカウト愛知連盟  
尾張東地区協議会

監 事 境 正 人

監 事 河 合 正 治

私は、平成30年度の決算において、帳簿並びに関係書類の監査を行った結果、収支決算書は会計帳簿の金額と一致し、尾張東地区の収支状況及び財産状態を正しく示しているものと認めます。  
以上

## 地区役員

役 務		氏 名	所 属
顧問		船 橋 鐸 夫	小 牧 第 1 団
		中 村 隆 二	春 日 井 第 2 団
		横 江 昭 憲	日 進 第 2 団
協議会長		井 上 勲	小 牧 第 2 団
協議会副会長		中 村 倫 之	小 牧 第 1 団
		河 村 武 人	北 名 古 屋 第 1 団
		佐 々 由 高	犬 山 第 7 団
地区委員長		平 野 嘉 彦	北 名 古 屋 第 1 団
地区副委員長		中 村 友 一	北 名 古 屋 第 2 団
		中 谷 洋	小 牧 第 1 団
地区コミッショナー		小 林 弘 幸	春 日 井 第 8 団
地区副コミッショナー	BVS	石 川 圭 祐	江 南 第 1 団
	CS	林 由 美 子	尾 張 旭 第 1 団
	BS	植 木 治 雄	北 名 古 屋 第 1 団
		日 比 野 良 治	江 南 第 3 団
		鈴 木 覚	春 日 井 第 5 団
	VS	古 木 啓 介	小 牧 第 1 団
		古 川 秀 晴	犬 山 第 7 団
	RS	中 川 大 輔	北 名 古 屋 第 1 団

団担当コミッショナー		申 崎 武 志	春日井第10団
		高 多 宣 彰	日進第1団
		小 林 泰 陸	春日井第4団
		佐 藤 慶 子	春日井第2団
		椎 葉 育 美	江南第3団
		内 田 志 郎	春日井第4団
		宮 下 彰 洋	犬山第7団
組織・拡充委員会	委員長	石 原 昌 幸	江南第3団
	副委員長	竹 内 久	瀬戸第1団
指導者養成委員会	委員長	伊 吹 登	長久手第1団
	副委員長	山 口 貴 美 江	春日井第10団
		藤 井 孝 之	小牧第2団
スカウト進歩委員会	委員長	八 橋 隆	江南第1団
	副委員長	金 田 高	日進第2団
行事・国際委員会	委員長	井 上 文 義	瀬戸第1団
	副委員長	高 橋 弘 道	春日井第3団
総務委員会	委員長	大 谷 茂	北名古屋第1団
	副委員長	田 口 澄 雄	瀬戸第6団
事務局	事務長	岩 花 竜 章	清須第1団
	副事務長	中 村 里 美	北名古屋第2団
	会計係	志 水 幹	日進第2団
ローバース代表委員		藤 井 聖 大	小牧第2団
		佐 伯 駿	小牧第1団
監事		境 正 人	犬山第5団
		河 合 正 治	大口第1団

# 平成31年度地区運営方針

## 1 運営方針

「基本原則」に沿ったスカウト活動ができるように、各団への支援を強化するとともに、ボーイスカウト活動のアイデンティティを明確にし、「スカウト数の増加」「指導者の養成（確保）」に向けた取組みを計画的に推進することとします。

## 2 目標

- (1) スカウト数の増加に向けた具体的な施策の実施、青少年100人に0.8人のスカウト確保を目指します。
- (2) スカウト自身が成長と成果を実感し意欲を高める場所を提供し全ての団から、「菊・隼・富士」取得者を目指します。
  - ①地区目標達成に向けた対応をします
  - ②BS・VS部門への高度な野外プログラム支援の充実をします。
  - ③BVS・CS部門への年代別プログラム支援の充実をします。
- (3) 指導者育成の充実
  - ①WB研修所・実修所の課題研修等のトレーナーによる一貫支援（担当制）をし、指導者として資質向上を目指します。
  - ②冒険的な野外活動や国際プログラムをスカウトへ適切に指導提供できる若手指導者の育成をします。
  - ③定型外訓練への参加を促すだけでなく社会人としての資質を高め、魅力ある指導者の養成をします。

## 3 重点施策

- (1) 日本連盟・愛知連盟主催「海外派遣事業」等に向けた支援
  - ①参加者および関連事業への支援態勢強化をします。
- (2) 「班（組）活動のできる」団に向けた対応を推進
  - ①少人数団（隊）への他団との合同集会を推進します。
  - ②団訪問等による団への支援を強化します。
  - ③他団との合同見学会等の開催に向けた取組みをします。
- (3) 実効性のある指導者研修
  - ①定型外訓練の充実をします。
  - ②インサービス・サポートの推進をします。
  - ③ラウンドテーブル（研修の場としての活用）および運営委員会の充実をします。
  - ④野外救急法（WFA）等国际資格取得へ支援します。
- (4) 危機管理体制の充実強化
  - ①防災士の育成をします。
  - ②防災ボランティアコーディネーターの養成をします。

(5) セーフ・フロム・ハームを重点的に推進します。

## 4 各運営委員会事業計画

別紙資料の通りです。

## H31年(2019年)度 予算(案)

## 1. 一般会計

## &lt;収入の部&gt;

(単位:円)

科 目		H30年予算	H31年予算	摘 要
1	前 年 度 繰 越 金	528,848	503,352	
2	地 区 費 ( 継 続 登 録 )	1,256,600	1,205,600	20,000×22団+600×1,276人
3	地 区 費 ( 追 加 登 録 )	50,000	50,000	100人
4	県 連 回 付 金	120,000	70,000	
	1) 訓 練 研 修 費	100,000	50,000	BS講習会、技能賞講習会
	2) 緑 の 募 金 還 付 金	20,000	20,000	緑の募金補助金
5	雑 収 入	10,000	10,000	寄付金、祝儀、利息等
6	積 立 金 か ら 取 り 崩 し	1,000,000	370,000	
合 計		2,965,448	2,208,952	

## &lt;支出の部&gt;

科 目		H30年予算	H31年予算	摘 要
1	訓 練 研 修 費	270,000	360,000	
	1) 指 導 者 講 習 会 ・ 研 修 会	50,000	50,000	BS講習会、資料他
	2) スカウト技能章講習会	40,000	40,000	技能章研修会、資料他
	3) コミッショナー研修会	180,000	270,000	コミッショナーグループ研修
2	行 事 費	160,000	180,000	
	1) 組織拡充支援金(スカウトラリー)	120,000	120,000	
	2) ベンチャー行事費	20,000	40,000	議長会等
	3) ローバース行事費	20,000	20,000	地区ローバース活動費
3	事 業 費	910,000	940,000	
	組 織 ・ 拡 充 委 員 会	200,000	200,000	旅費、活動費、地区機関紙、HP維持費
	指 導 者 養 成 委 員 会	50,000	50,000	旅費、活動費、資料代他
	スカウト進歩委員会	50,000	50,000	〃
	行 事 ・ 国 際 委 員 会	50,000	50,000	〃
	総 務 委 員 会	50,000	80,000	防災キャラバン、旅費、活動費、資料代他
	コ ミ ッ シ ョ ナ ー	250,000	250,000	地区トレーニングチーム、救急チーム経費
	事 務 局	50,000	50,000	スカウトあいち掲載他
	運 営 費	140,000	140,000	会場使用料
	事 務 ・ 通 信 費	20,000	20,000	振込手数料
	慶 弔 費	50,000	50,000	祝儀他
4	備 品 購 入 積 立 金	50,000	50,000	資材、機材、備品
5	全 国 大 会 関 係 積 立 金	300,000	300,000	日連、県連各大会
6	大 会 支 援 金	1,000,000	370,000	24WSJ他
7	予 備 費	275,448	8,952	
合 計		2,965,448	2,208,952	

## 2. 特別会計

科 目	前年度残高	H31年収入	H31年支出	次年度繰越	適 要
1 備 品 購 入 積 立 金	348,830	50,000	0	398,830	
2 全 国 大 会 関 係 積 立 金	2,050,000	300,000	370,000	1,980,000	大会準備金
合 計	2,398,830	350,000	370,000	2,378,830	

## 資料

### 平成30年度 隼スカウト・富士スカウト 伝達者名簿 ( 取得順 )

#### 隼スカウト

鈴木 颯太	春日井第5団
長屋 琉我	清須第1団
又平 泰輔	春日井第2団
小林 健斗	春日井第10団
伊藤 輝亮	春日井第4団

#### 富士スカウト

玉井 友梨	北名古屋第2団
平田 遥香	日進第2団
小川 優輝	瀬戸第6団

### 平成30年度運営委員会出席状況表

#### 組織・拡充委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	3/5	60%
犬山第7団	1/5	20%
大口第1団	5/5	100%
尾張旭第1団	4/5	80%
春日井第2団	4/5	80%
春日井第3団	1/5	20%
春日井第4団	5/5	100%
春日井第5団	2/5	40%
春日井第8団	5/5	100%
春日井第10団	5/5	100%
北名古屋第1団	3/5	60%
北名古屋第2団	4/5	80%

	出席/開催	出席率
清須第1団	4/5	80%
江南第1団	3/5	60%
江南第3団	5/5	100%
小牧第1団	4/5	80%
小牧第2団	4/5	80%
瀬戸第1団	4/5	80%
瀬戸第6団	5/5	100%
長久手第1団	1/5	20%
日進第1団	4/5	80%
日進第2団	4/5	80%
平均出席率	81/110	74%

#### スカウト進歩委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	5/6	83%
犬山第7団	4/6	67%
大口第1団	4/6	67%
尾張旭第1団	4/6	67%
春日井第2団	6/6	100%
春日井第3団	3/6	50%
春日井第4団	5/6	100%
春日井第5団	4/6	67%
春日井第8団	5/6	83%
春日井第10団	6/6	100%
北名古屋第1団	6/6	100%
北名古屋第2団	5/6	100%

	出席/開催	出席率
清須第1団	3/6	50%
江南第1団	6/6	100%
江南第3団	6/6	100%
小牧第1団	5/6	83%
小牧第2団	3/6	83%
瀬戸第1団	0/6	0%
瀬戸第6団	6/6	100%
長久手第1団	5/6	83%
日進第1団	3/6	50%
日進第2団	5/6	83%
平均出席率	99/132	75%



### 指導者養成委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	4/6	67%
犬山第7団	5/6	83%
大口第1団	3/6	50%
尾張旭第1団	4/6	67%
春日井第2団	4/6	67%
春日井第3団	2/6	33%
春日井第4団	5/6	83%
春日井第5団	6/6	100%
春日井第8団	2/6	33%
春日井第10団	6/6	100%
北名古屋第1団	6/6	100%
北名古屋第2団	5/6	83%

	出席/開催	出席率
清須第1団	6/6	100%
江南第1団	4/6	67%
江南第3団	5/6	83%
小牧第1団	4/6	67%
小牧第2団	4/6	67%
瀬戸第1団	5/6	83%
瀬戸第6団	6/6	100%
長久手第1団	5/6	83%
日進第1団	4/6	67%
日進第2団	5/6	83%
平均出席率	99/132	75%

### 行事国際委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	6/6	100%
犬山第7団	3/6	50%
大口第1団	5/6	83%
尾張旭第1団	4/6	67%
春日井第2団	5/6	83%
春日井第3団	5/6	83%
春日井第4団	6/6	100%
春日井第5団	5/6	83%
春日井第8団	3/6	50%
春日井第10団	4/6	67%
北名古屋第1団	6/6	100%
北名古屋第2団	5/6	83%

	出席/開催	出席率
清須第1団	5/6	83%
江南第1団	5/6	83%
江南第3団	4/6	67%
小牧第1団	6/6	100%
小牧第2団	4/6	67%
瀬戸第1団	6/6	100%
瀬戸第6団	3/6	50%
長久手第1団	0/6	0%
日進第1団	6/6	100%
日進第2団	6/6	100%
平均出席率	102/132	77.3%

### 総務委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	2/5	40%
犬山第7団	3/5	60%
大口第1団	4/5	80%
尾張旭第1団	3/5	60%
春日井第2団	5/5	100%
春日井第3団	5/5	100%
春日井第4団	5/5	100%
春日井第5団	1/5	20%
春日井第8団	3/5	60%
春日井第10団	0/5	0%
北名古屋第1団	5/5	100%
北名古屋第2団	4/5	80%

	出席/開催	出席率
清須第1団	2/5	40%
江南第1団	5/5	100%
江南第3団	5/5	100%
小牧第1団	4/5	80%
小牧第2団	3/5	60%
瀬戸第1団	2/5	40%
瀬戸第6団	4/5	80%
長久手第1団	0/5	0%
日進第1団	5/5	100%
日進第2団	5/5	100%
平均出席率	75/110	68.2%

ラウンドテーブル [出席率 %]

ラウンドテーブル [出席率 %]

	BVS	CS	BS	VS	RS
開催回数	8回	8回	8回	8回	4回
犬山第5団	100	63	63	63	0
犬山第7団	88	88	88	100	25
大口第1団	75	50	75	—	25
江南第1団	100	88	88	88	0
江南第3団	63	100	75	0	0
北名古屋第1団	25	50	100	100	75
北名古屋第2団	63	88	38	75	50
清須第1団	38	38	38	50	75
小牧第1団	63	63	100	75	25
小牧第2団	100	25	88	25	0
春日井第2団	88	100	100	100	0
春日井第3団	—	0	13	—	0
春日井第4団	100	88	100	100	25
春日井第5団	88	50	88	100	75
春日井第8団	88	63	75	63	25
春日井第10団	75	13	100	75	0
瀬戸第1団	75	63	100	75	0
瀬戸第6団	75	38	63	75	0
尾張旭第1団	88	88	88	—	100
長久手第1団	0	38	88	13	0
日進第1団	0	75	88	0	0
日進第2団	100	50	100	100	75

平成30年度表彰履歴(敬称略)

日本連盟	感謝章	井上 勲	小牧第2団	
	たか章	横江昭憲	日進第2団	
	特別年功章	5年	14名	
		10年	10名	
		15年	7名	
		20年	2名	
	団50年章		瀬戸第1団	
	隊褒章綬	10年	清須第1団 ローバー隊	
		20年	春日井第3団 ローバー隊	
		25年	大口第1団 ローバー隊	
		30年	北名古屋第2団 ローバー隊	
			日進第1団 ビーバー隊	
			日進第2団 ビーバー隊	
		35年	日進第2団 ボーイ隊	
		40年	犬山第5団 ベンチャー隊	
			北名古屋第2団 カブ隊	
			小牧第1団 ベンチャー隊	
			春日井第4団 ベンチャー隊	
			春日井第8団 カブ隊	
			春日井第8団 ボーイ隊	
		45年	北名古屋第1団 ローバー隊	
			瀬戸第1団 ベンチャー隊	
		50年	清須第1団 カブ隊	
			瀬戸第1団 カブ隊	
			瀬戸第1団 ボーイ隊	
			春日井第4団カブ隊	
		55年	清須第1団 ボーイ隊	
尾張旭第1団 カブ隊				
春日井第2団 ボーイ隊				
BS 振興国会議員連盟表彰		竹山 勉	小牧第2団 ベンチャー副長	

愛知連盟	県連有功章	稲葉啓二	清須第1団 ボーイ副長
		岩田みどり	春日井第8団 ローバー隊長
		澤田久幸	春日井第2団 ビーバー副長
		桑原大道	春日井第2団 副団委員長
		加藤賢一	春日井第4団 ボーイ隊長
		伊藤 司	清須第1団 ビーバー副長
	顕彰記章	梶谷光平	長久手第1団
		中島竜之介	長久手第1団
		伊藤 彩	江南第3団
		佐藤 遥	小牧第1団

尾張東地区トレーニングチームメンバー

			NO	役 務	氏 名	所 属 団
地 区 ト レ ー ニ ン グ チ ー ム	県 連 ト レ ー ニ ン グ チ ー ム	日 本 連 盟	1	リーダートレーナー	井 上 勲	小 牧 第 2 団
			2	リーダートレーナー	中 村 倫 之	小 牧 第 1 団
			3	リーダートレーナー	岩 田 秀 雅	春 日 井 第 8 団
			1	副リーダートレーナー	森 裕 次	瀬 戸 第 6 団
			2	副リーダートレーナー	椎 葉 育 美	江 南 第 3 団
			3	副リーダートレーナー	中 村 友 一	北 名 古 屋 第 2 団
			4	副リーダートレーナー	中 谷 洋	小 牧 第 1 団
			5	副リーダートレーナー	中 谷 真 里	小 牧 第 1 団
			6	副リーダートレーナー	日 比 野 良 治	江 南 第 3 団
			7	副リーダートレーナー	林 由 美 子	尾 張 旭 第 1 団
			1	県チームスタッフ	宮 下 彰 洋	犬 山 第 7 団
			2	県チームスタッフ	水 谷 優 介	春 日 井 第 2 団
			3	県チームスタッフ	小 林 弘 幸	春 日 井 第 8 団
			4	県チームスタッフ	河 村 武 人	北 名 古 屋 第 1 団
			5	県チームスタッフ	植 木 治 雄	北 名 古 屋 第 1 団
			6	県チームスタッフ	栗 本 雅 仁	小 牧 第 1 団
			7	県チームスタッフ	古 川 秀 晴	犬 山 第 7 団
			8	県チームスタッフ	石 川 圭 祐	江 南 第 1 団
			1	地区チームチーフ	鈴 木 覚	春 日 井 第 5 団
			2	地区チームスタッフ	伊 吹 登	長 久 手 1 団
			3	地区チームスタッフ	中 村 里 美	北 名 古 屋 第 2 団
			4	地区チームスタッフ	石 原 昌 幸	江 南 第 3 団
			5	地区チームスタッフ	古 木 涉 太	小 牧 第 1 団
			6	地区チームスタッフ	小 川 恭 平	瀬 戸 第 1 団
			7	地区チームスタッフ	中 川 大 輔	北 名 古 屋 第 1 団
			8	地区チームスタッフ	小 林 香 織	春 日 井 第 8 団
			9	地区チームスタッフ	佐 藤 精	日 進 第 2 団

※休務者は記載しておりません。

尾張東地区救急チームメンバー

No	役 務	氏 名	所 属 団
1	チ ー フ	片 谷 文	春 日 井 第 5 団
2	サ ブ チ ー フ	続 木 雅 子	春 日 井 第 4 団
3	事 務 局	水 谷 優 介	春 日 井 第 2 団
4		杉 本 京 子	犬 山 第 5 団
5		中 村 里 美	北 名 古 屋 第 2 団
6		西 下 秀 志	北 名 古 屋 第 2 団
7		伊 藤 栄 志	江 南 第 3 団
8		舩 橋 菜 月	春 日 井 第 2 団
9		五 井 忍	春 日 井 第 4 団
10		小 林 泰 陸	春 日 井 第 4 団
11		串 崎 武 志	春 日 井 第 10 団
12		藤 井 孝 之	小 牧 第 2 団
13		松 原 彩 香	瀬 戸 第 1 団
14		小 川 万 里 子	瀬 戸 第 6 団
15		高 多 宣 彰	日 進 第 1 団

尾張東地区WEBチームメンバー

No	役 務	氏 名	所 属 団
1	ス タ ッ フ	椎 葉 浩 志	江 南 第 3 団
2	ス タ ッ フ	石 原 昌 幸	江 南 第 3 団



平成31年度 日本ボーイスカウト愛知連盟尾張東地区 活動計画

平成31年度 地区運営方針

「基本原則」に沿ったスカウト活動ができるように、各団への支援を強化するとともに、ボーイスカウト活動のアイデンティティを明確にし、「スカウト数の増加」「指導者の養成(確保)」に向けた取組みを計画的に推進することとします

平成31年度 目標

- (1) スカウト数の増加に向けた具体的な施策の実施  
青少年100人に0.8人のスカウト確保を目指します
- (2) スカウト自身が成長と成果を実感し意欲を高める場所を提供し、全ての団から、「菊・隼・富士」取得者を目指します
  - ①地区目標達成に向けた対応をします
  - ②BS・VS部門への高度な野外プログラム支援の充実をします
  - ③BVS・CS部門への年代別プログラム支援の充実をします
- (3) 指導者育成の充実
  - ①WB研修所・実修所の課題研修等のトレーナーによる一貫支援(担当制)をし指導者としての資質向上を目指します
  - ②冒険的な野外活動や国際プログラムをスカウトへ適切に指導提供出来る若手指導者の育成をします
  - ③定型外訓練への参加を促すだけでなく社会人としての資質を高め、魅力ある指導者の養成をします

平成31年度 重点施策

- (1) 日本連盟・愛知連盟主催「海外派遣事業」等に向けた支援
  - ①参加者および関連事業への支援態勢強化をします
- (2) 「班(組)活動のできる」団に向けた対応を推進
  - ①少人数団(隊)への他団との合同集会を推進します
  - ②団訪問等による団への支援を強化します
  - ③他団との合同見学会等の開催に向けた取組みをします
- (3) 実効性のある指導者研修
  - ①定型外訓練の充実
  - ②インサービス・サポートの推進をします
  - ③ラウンドテーブル(研修の場としての活用)および運営委員会の充実をします
  - ④野外救急法(WFA)等国際資格取得への支援をします
- (4) 危機管理体制の充実強化
  - ①防災士の育成をします
  - ②防災ボランティアコーディネーターの養成をします
- (5) セーフ・フロム・ハームを重点的に推進します

行事計画と役割

行事・会議	各組織の機能	メンバー	関連施策番号	活動内容			
1 運営委員会	スカウト組織とその拡充及び広報に関する企画	委員長 1名 副委員長 1名 各団委員 20名	目(1)	1. 地区誌はやぶさの発行及びスカウトあいち投稿支援をします 2. 地区ホームページ、フェイスブックページの運営を行います 3. 講演会を実施します 4. 募集ツールを制作します			
			重(2)③	5. 他団との合同見学会等の開催に向けた取組みをします			
			(2)-①	各級別目標を管理し月ごとの団面接報告に基づき進捗を確認目標達成を目指します			
			(2)-②	速やかな地区進級面接を実施します			
			(2)-③	技能章講習会を通じスキルアップを図ります			
1-2 スカウト進歩委員会	スカウト各人の進歩状況の把握と進歩に向けたプログラム活動の企画	委員長 1名 副委員長 1名 各団委員 20名	カブ完修の調査で早期完修を促し、小枝章5個取得の集計をし木の葉章の取得を増やします				
			重点施策(3)-③	運営委員会での情報交換会で新しい意見を取り入れ委員会を活性化させます			
			目(3)①	定型外訓練の「訓練内容・目標」の変化に柔軟に対応し、参加者の研修環境の向上を図ります			
			重(3)②	インサービス・サポートを充実させるべく、トレーニングチームと協働し指導者への支援効果を高めます			
			重(3)③	委員自身の研修の場として、委員会の場を活用します(訓練体制・体系の理解等)			
1-3 指導者養成委員会	指導者の育成を図るプログラム企画と場づくり	委員長 1名 副委員長 2名 各団委員 19名	目(3)①	定型外訓練の「訓練内容・目標」の変化に柔軟に対応し、参加者の研修環境の向上を図ります			
			重(3)②	インサービス・サポートを充実させるべく、トレーニングチームと協働し指導者への支援効果を高めます			
			重(3)③	委員自身の研修の場として、委員会の場を活用します(訓練体制・体系の理解等)			
			重(1)-①	第24回世界スカウトジャンボリーへの対応をします			
			重(1)-②	海外・国内派遣事業の各団への広報と参加者への支援をします			
1-4 行事・国際委員会	野営及び国際行事関係に係る対応施策の企画	委員長 1名 副委員長 1名 各団委員 20名	重(1)-③	第3回 東海4県連盟合同野営大会(3TC)に向けた支援・準備を行います			
			重(4)	危機管理体制の充実強化			
				[野舎営届][県外旅行申請書]の提出管理し、地区委員会等で報告します			
			重(5)	委員会の中で[セーフ・フロム・ハーム]について研修をします			
			重点施策(3)-③	運営委員会の充実、インシデント報告(ヒヤリハット報告)の継続展開をします。			
1-5 総務委員会	財政確保と行政対応等の委員会に属さない事項への対応	委員長 1名 副委員長 1名 各団委員 20名	3-(4)	危機管理体制の充実強化を図ります			
				① 各団(各隊)の危機管理体制連絡網の整備をします			
				② 防災ボランティアコーディネーター養成講座への参加者3名以上を目標とします			
				③ 防災士の育成をします(講習会開催等の情報収集と展開)			
				④ 防災キャラバンの実施をします(イオン春日井ショッピングセンターにて予定)			
2 尾張東地区ローバース Frontier	RS対象の活動および情報交換	地区内のRSおよび同年代の青年指導者	重(1)	定例会を通じ海外派遣事業の情報を展開し、RSとしてできる支援を考え実行します			
			重(4)	防災ボランティアコーディネーター養成講座への参加を促し、防災への知識を持ったRSを増やします			
				アクティビティや地区行事への奉仕といった地区ローバースの活動をFacebookなどSNSを通じて多くの人に知ってもらうよう取り組みます			
			重(1)①	24WSJ、フィルモント派遣者への支援を行います			
			重(2)	スカウト活動の標準化を促し、スカウト活動の楽しさを通して個々のスカウトの成長を図り、スカウト及び保護者の活動への満足度を上げることで、活動を活性化させます			
3-1 地区コミッショナー	規定の遵守とスカウト教育の純正な推進のための教育及び指導	コミッショナー16名 地区トレーニングチーム 地区救急チーム	重(3)	指導者訓練および個別支援により、指導者のスキルアップを促し、楽しく、安全な活動が提供できるように研修を行います			
			重(5)	セーフ・フロム・ハーム研修及び研究会を行い、安全な活動を提供できるようにします			
			目(3)	地区トレーニングスタッフの技能向上を目指します			
			目(3)②	地区救急チームを専門化させ、実践的な救急法の考え方のもと、どの部門でも安心した活動が行えるように支援・研修を行います			
			目(2)③	ビーバースカウトの特性及び部門間の繋がりを理解したプログラムの立案ができるように、研修・研究を行います			
			重(3)①	定型訓練(3名以上)、定型外訓練(15名以上)への参加を促し、修了後も継続的な支援を行います			
			重(3)②	エリアごとの合同隊集会が実施できるように各種支援を行います。			
			重(3)③	カブスカウトのやくそくとカブ隊のさだめについて、スカウトの成長に見合った指導が適切に行えるように取り組みます			
			目(2)③	この年代の特性を理解し、進歩制度のねらいを教授した、組集会から隊集会までの楽しいプログラムを実施、展開できるように研修、研究を実施します			
			重(2)①	少人数の隊に対して、近隣の隊との合同隊集会を実施できるように支援をします			
			重(5)	年代と活動に応じたセーフ・フロム・ハームへの取り組みを推進します			
			重(2)①	少人数団(隊)への他団体との合同隊集会を推進し、団訪問により支援を行います			
			目(2)①	進級・進歩に必要なスキル支援を行い、菊スカウト育成、技能章取得を目指します			
			目(2)②	隊長ラウンドテーブルで隊運営に必要なプログラムプロセスの研究等により、3TCに向けたプログラム支援、指導者育成を目指します			
			重(5)	セーフ・フロム・ハームを重点的に推進します			
3-2 BVS部門		副コミッショナー1名 個隊指導者	目(2)	地区VS行事の企画・運営を「ラウンドテーブルとしてのプロジェクト」として位置づけ、年間を通じてVS部門指導者への研修を行うとともに、隊指導者のプロジェクト指導技能への理解と向上を図ります			
			目(2)	継続して全国の隊訪問を実施し、地区内各隊の運営状況を把握して、「スカウトにとってプラスとなるベンチャー活動」に必要な適切な個別支援を実施します			
			目(2)	進歩課目の基準を隊指導者とともに検討し、地区における方針を明確にします。それにより、隼・富士の指導をしやすくし、進歩制度によるスカウトの成長に寄与します			
			目(2)	地区VS行事として「尾張東VS特別野営2019」を開催します。スカウト同士の交流とハイレベルな野外活動を柱として展開し、「魅力あるVS活動」を見える形でスカウトに示し、スカウト自身が成長を実感できる活動を隊指導者とともに実行します			
			重(1)	RT、地区ローバース定例会において韓国緑化派遣などの海外派遣事業への支援参加を促進します。			
			重(4)	RT、地区ローバース定例会において防災ボランティア・コーディネーター養成講座への参加を促進します。			
3-3 CS部門		副コミッショナー1名 個隊指導者	重(3)⑤	四半期ごとにRTを開催し、セーフ・フロム・ハームやローバー活動に関する情報提供・研修を実施します			
			重(2)-1	① 少人数団(隊)の活動に対して助言と支援を行います 目標3件			
			重(2)-2	② 団訪問、情報提供及び団委員長サミット等による団活性化の支援をします 目標全個団			
			重(2)-3	③ スカウト増員を目的とした調査と団活動を支援します 目標5件(11市町)			
			1.	愛知連盟地区事務長会議へ参画します 年4回			
			2.	地区協議会(総会含む) 年2回、団委員長会議 年3回、地区委員会 年9回開催します			
3-4 BS部門		副コミッショナー3名 個隊指導者	3.	危機管理委員会を開催します			
			4.	地区財政・財務管理、表彰関連、資料管理をします			
			5.	各委員会と協働し資料作成など事務作業をします			
			6.	県連情報伝達等による配布資料の分配、情報伝達のペーパーレス化を図ります			
			4 団担当コミッショナー	地区内の団の情報を、団への巡回・訪問を通して収集し、団運営を支援する	団担当コミッショナー7名		
			5 事務局	地区全般事務関連業務	事務長 副事務長 会計係		



平成31年度・尾張東地区諸会議/行事

開催会議名称		開催日(基本計画)	時間	場所(部屋名)	31/4月	元/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2/1月	2月	3月	4月	2/5月	6月	7月	8月	
地区諸会議	地区協議会(総会を含む)		18:00		14									26			12					
	地区委員会	指定月 第2日曜日	19:00	レディヤン 研修室		12	2	15		8		4	8	13		8・22		10	14	12		
	団委員長会議	指定月 第2土曜日	19:00 9:00	レディヤン 研修室 指定場所*サミット	6											8	4					
	企画会議	指定月 指定日時	17:30	レディヤン 第1集会室	28	26	23		25	29	27	24	22	19	23	15	26	24	28		23	
	地区コミ会議	偶数月 第4日曜日	17:30 19:00	レディヤン 第1集会室							12		22									
	団担当コミ会議	指定月 指定日時	17:30	レディヤン 第1集会室	28		23			29						23		12		28	23	
	地区名誉会議	指定月 指定日時	17:30	レディヤン 第1会議室	6		2			8		4	22		8		4		14		23	
	組織・拡充委員会	指定月 指定日	19:00	指定場所	21		8		25	15			15		16		19		21		23	
	総務委員会	指定月 指定日	19:00	レディヤン 第2会議室	7		8			15		10			2		5		14			
	指導者養成委員会				21		16		25		6		15		16		19		21		23	
	スカウト進歩委員会	偶数月 第3日曜日	19:00	レディヤン 第2会議室	21		16		25		6		15		16		19		21		16	
	行事・国際委員会				21		16		18		13		15		16		19		21		16	
	RT	BVS隊			第4会議室		26	23		23		24		19		15		24		26		
		CS隊	指定月 第4日曜日	19:00	レディヤン 第2会議室		26		28		23		24		19		15		24		26	
		BS隊	(一部変更あり)		第1会議室		26		28		23		24		19		15		24		26	
VS隊		指定月 第3日曜日	18:00	レディヤン 第2会議室		26	23			23		24		19		15		24		26		
RS隊		指定月 指定日時	17:30	レディヤン	6	26	22				19				22		11					
地区ロ-バス会議	指定月 指定日時	19:00	レディヤン	6		22				19				22		5						
地区団登録審査	地区													22~23								
スカウト対象	VS.技能章(茶道章)												12									
	VS-泊技能章									26,27												
	VS.技能章(救急)	スカウト進歩委員会					16					16,17										
	VS.技能章(看護)															22						
	VS.技能章(薬事)						15															
	スカウトフォーラム						県77カ-					地区		県								
地区トレーニングチーム会議	地区TT	( )はチーム会議				30			(1)							(8)						
指導者対象	定型外訓練					19		9														
	デンリーダー研修会	指導者養成委員会																				
	アウトドア講習																					
	野営法研修会1										24-25											
	指導者救急講習会																					
	野営法研修会2																22					
	BS研修会(尾張ブロック)									29												
	定型訓練									1												
	ボーイスカウト講習会 31-11	指導者養成委員会		小牧青年の家																		
	ボーイスカウト講習会 31-17			北名古屋文化勤労会館														8				
WB研 SC愛知第9期			新城 吉川野営場	26~29																		
WB研 SC愛知第10期			新城 吉川野営場		3~6																	
WB研 SC愛知第11期			新城 吉川野営場								11~14											
WB研 課程別			未定									27										
WBVS実修所 第31期			新城 吉川野営場								31	~4										
団委員研修所 第40期			新東工業研修センター									2~4										
愛知連盟 年次総会			名古屋国際センター別棟				16												21			
日本連盟 全国大会			鹿児島県			25~26																
愛知連盟 70周年BSの集い			名古屋市久屋大通公園									10										
第70回 全国植樹祭			尾張旭市森林公園			2																
第24回 世界スカウトジャンボリー			米国ウエスト・バージニア州					7/22-8/2														
第24回世界スカウトジャンボリー事前訓練					28-29			19-21														
第30回 フィルモント派遣			米国ニューメキシコ州シマロン					7/20-8/7														
富士特別野営2019			那須野営場、高坂スカウトフィールド					10~16														
尾張東VS特別野営																20-22						
第3回 東海4県連盟合同野営大会			高山市日和田高原																	7-12		
防災キャラバン			イオン春日(予定)																			

祝日振替休日(月曜日)がある場合は、月曜日に会議を開催する

但し会議重複がある場合は地区委員会を優先する

会議室の変更もあります

安全促進フォーラム 6/29

防災ボランティアコーディネーター養成講座 7/7

RS対象「リクルート懇談会」 11/19

セム・フロム・ハムセミナー 7/14

県連ゴルフ大会

10/24